

## FIWA®代表理事リレー投稿 「投資で成功するための三条件」

寄稿： FIWA®協会  
副理事長 原田 武嗣

FIWA マンスリーセミナー(2021.3.21)で鎌倉投信 社長 鎌田 恭幸氏の講演「豊かな投資で人生をひらこう～変化の時代を生きる投資観と人生観を磨く～」という示唆に富む素晴らしいお話を伺いました。その内容はインベストライフ本号で紹介されています。鎌田氏は、投資観と人生観を一体のこととしてとらえ、「豊かな投資で人生をひらこう」と語りかけられました。ご講演の中で語られた投資観と人生観の相互関係については大いに共感するところです。



さて、本号の代表理事リレー投稿では、「投資で成功するための三条件」について限定して、私なりの考えを整理してみます。

投資で成功するための条件は3つに限定されるわけではありませんが、できる限り単純化して行動指針とすることが重要です。

ご講演では、以下の3つの成功条件が語られました。

- ① 継続力
- ② 自分なりの投資観(軸)を持つ
- ③ お金に対して誠実であり、謙虚である

私自身この「投資で成功するための三条件」に賛同します。この条件についての鎌田氏のお考えの具体的内容とは、必ずしも一致しませんが、私は三条件の具体内容については以下のように考えます。

- ① 継続力については、短期の投資損益に一喜一憂せず<sup>(注)</sup>、長期間にわたり継続して投資すべきということです。まずは、積立 NISA や iDeCo の節税投資の仕組みの利用が基本です。そして、アクティブ運用ファンドや個別銘柄への厳選投資が有効な場合も否定しませんが、ドルコスト平均法でインデックスファンドへの長期積立投資が最も簡便で効率的な方法です。
- ② 自分なりの投資観(軸)を持つことについては、投資の肝になる場所ですので、少し丁寧に考えを整理します。先ず、
  - そもそも豊かな人生を送る上で、投資って必要なのか？という素朴な質問があ

ります。

●また、投資といっても、教育費、健康維持増進のためや人的ネットワークを広げるためなどの人的投資もあるし、株式や債券などの金融資産などへの非人的投資もあります。ともに投資という以上、投資成果つまり、将来の収入の増加を期待するものです。

●お金は人生を豊かにする上で必要なものですから、どのように生活者として、お金と付き合うかということになります。

- ・基本は人的資本をフル活用して、健康で働けるうちは働き、収入を得ることです。
- ・でも、健康を害して働けなくなる、就業が不安定(会社の倒産、非正規雇用、雇い止め、解雇)など人生にはいろいろなリスクが付きまといまいます。計画通り行かないリスク勘案して、余裕のある時にまさかの場合の準備をしておくことが肝要です。
- ・厚生年金、国民年金などの公的年金という安全弁はありますが、これだけでは不安というのが、多くの生活者の実情でしょう。

当たり前ですがお金は多くあればあるほど良いということです。そこで、どうすれば良いか？はっきりしているのは、当たり前のことですが、お金は使えば減るものだけということです。ですから、必要以上の支出をしないで、残りを貯蓄、運用することが肝要です。そのうえで、お金についての具体的で現実的なゴール設定が必要です。いつまでに目標を達成したいのか、毎日なり、毎月いくらを蓄え続けられるのか、利率・投資収益率について、どの程度期待するのかが妥当かなど、お金についてのライフプランを行い、一定期間ごとに見直しをしていくことが必要です。

ここで生活者にとって、豊かな人生を送るうえで投資は必要なのか？という疑問に答えることが必要になります。個々人の状況によりどの程度の額を投資に振り向けられるかは異なりますが、結論を言えば、長期的にインフレ率を上回る経済の実質成長を取り込めるという点で、一般的に株式への投資は絶対必要とは言わないまでも、有効ということになります。そして、日本では人口減少で長期的に経済の潜在成長力の低下が見込まれる中、世界の人口成長、経済成長が取り込める世界株式ファンドが有効な選択肢となります。

具体的中身は異なりますが、以上の①及び②については、多くの投資専門家、金融専門家が投資の成功条件として挙げています。私が注目しているのは、「③お金に対して誠実であり、謙虚である」という条件です。このことについて、もっと強調してよい、というか強調されるべきと考えています。お金の使い方も殖やし方も誠実で、謙虚であるべきという考え方です。

利率・投資収益率はどの程度がよいかについては、常識的には、多ければ多いほうが良いということになります。人は奢侈なお金の使い方を強く望むと、お金に対して強欲となり、投資リターンも無理な高率を望むようになります。短期間で 100 万円を 1 億円に増やした「億り人」の話を聞いたりすると、自分もできるのではと錯覚してしまう人もいます。投資の世界では、短期的には、単に運よく大儲けをすることも可能です。しかし、投資でにわか成金になってしまうと、欲の皮が突っ張って、最終的には儲けをすべて吐き出し、損をしてしまうというのが落ちでしょう。

投資において最も難しいことは、目先の成功が積み重なってくると、目標設定を上にと引き上げてしまう衝動を抑えることが難しいことです。個々の投資家の欲望、他人との比較感に株式相場は無頓着です。「足るを知る」ということが重要です。長期的には、しっかりした投資観、投資方針を持ち、継続して投資を実践することが肝要です。大儲けをして金持ちになるということではなく、インフレに打ち勝ち将来の購買力を減らさないで財産保全を目指す(お金を育てる)程度の目標設定が一般生活者には健全でしょう。

投資で成功するための条件は、以上の 3 つに限定されるものではありませんが、この三条件は、一般生活者が投資を行う場合、基軸となる得るシンプルでわかりやすい行動指針です。

(注釈)チャールズ・エリス著、鹿毛雄二訳「敗者のゲーム」第 14 章 損失をどう受け止めるか、162 頁で思慮深い投資戦略家、賢人エリスは「投資家は資産運用ゲームに参加する限り、現在および将来の損失を覚悟しておかなければならない。そして、短期的損失を、長期的な利益のための「避けられない真実」として受け入れること。ここに成功の秘訣があるのだが、これがなかなか難しい。逆説めいて聞こえるかもしれないが、資産運用においては、望ましい目的のための手段として、「意図的に」損失を出せということなのである。」と述べている。